

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		未来につながるさとの森事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	林務水産係							活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計 1	款 6	項 2	目 2	備考	ア	間伐・再造林・保育作業を実施した面積	ha	230 230	230 230	230 297	230	230	230	
(個別目標)	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	補助金					イ										
(施策)	2	1次産業の振興	対象	森林組合					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間	H26 年度～ 年度 ( 年間)					ア	市内の森林の総面積	ha	15,913 15,913	15,913 15,913	15,913 15,913	15,913	15,913	15,913	
(施策)	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト								イ	森林の再造林への取組 (再造林率)	%	80 51	80 42	80	80	80	80	
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価								
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	森林環境の整備、適期施業の実施、森林の公益的機能の維持向上が目的のため、短期間の評価は困難であるが、間伐・再造林の促進による効果は出てきていると判断される。								
	財源内訳	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220											
	事業費計 (A)	千円	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220	6,220											
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025											
	人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140	140											
(A) + (B)	千円	6,360	6,360	6,360	6,360	6,360	6,360												
(2) 事業概要																			
事業目的	後世に引き継ぐ森林資源の適正管理 (間伐、再造林、下刈) を行う森林所有者の負担軽減を図る。											効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	材価の低迷、施業経費の増加により森林所有者の積極的な施業が停滞している中、適正な森林管理を推進するため、森林所有者の負担軽減を図るためには補助を続ける必要がある。 一方で、施業主体による施業区域の集約化等により低コスト施業体制の整備が求められる。					
事業内容	適期の間伐を推進するため、間伐実施者に対し間伐経費の一部 (30,000円/h a)、再造林実施者に対して苗木の一部 (68,000円/h a)、下刈・除伐倒育林作業経費の一部 (15,000円/h a) を助成する。なお、それに係る事務経費 (写真等) を50,000円助成する。																		
開始経緯	林業の採算性の悪化により、森林所有者の森林を管理する意欲が減退していることを背景として、森林施業が十分に行われていないなど、多面的機能の発揮に支障をきたすことが懸念されている。このような状況に対して、林業経営基盤強化と併せて本市の環境保全及び林業振興を図るために開始された。																		
実施状況	(1) 面積	間伐	再造林	下刈	計							達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	適正な森林管理を推進するため、森林所有者の負担軽減を図られた。					
	40ha	40ha	150ha	230ha															
(2) 助成金	6,170,000円																		
(3) 事務費	50,000円																		
成果	再造林への上乘せ助成、下刈助成を始めたことで、森林への関心が徐々に生まれきている。											改革 改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了	
課題	近年は一般伐採業者による主伐が増えてきており、天然更新が増えてきている。																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		特用林産物（枝物）振興事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
				担当係	林務水産係					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)						
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	2	2		ア	機械導入台数	台	5 4	5 0	5 3	5 5	5 5			
（個別目標）	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	補助金					イ	新植の面積	ha	5 1	5 1	5 0.74	5 5	5 5			
（施策）	体系	2	1次産業の振興	対象	花木生産団体					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
（基本目標）	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする	事業期間	H20年度～ 年度（ 年間）					ア	出荷量	kg	120,000 51,121	120,000 91,945	120,000 98,600	120,000	120,000	120,000		
（施策）	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト							イ										
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価									
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)												
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円	1,235	156	1,506	800	1,000	1,000	有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	花木の生産者から作業の省力化と効率の向上を図るために、管理機械の導入補助の要望が多い。									
	国県支出金	千円																		
	その他特定財源	千円																		
	一般財源	千円	620	78	754	413	500	500												
	事業費計 (A)	千円	1,855	234	2,260	1,213	1,500	1,500												
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050												
人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280	280	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	花木の生産者の高齢化が進んでいくために、管理機械の導入を図り作業の省力化と効率の向上を図る必要がある。										
(A) + (B)	千円	2,135	514	2,540	1,493	1,780	1,780													
(2) 事業概要													達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間	管理機械の導入をしたことにより、花木生産者の作業の省力化と効率の向上が図られた。					
事業目的	特用林産物（枝物）の産地化及び面積拡大を目的とし、生産機械等の整備を図り作業効率の軽減と省力化を図る。																			
事業内容	志布志市内の花木生産団体と協力して、栽培面積の拡大と販路の新規開拓、生産性の向上、品質管理を組合員に徹底させ、「こころざし花木ブランド」の確立に向け、推進していく。																			
開始経緯	平成10～12年に苗木を初めて導入し、平成12年に組合が発足し少しずつ面積が拡大してきたが、近年市場からの需要がまかないきれない状況にあり、面積拡大が重要であることから、平成20年度から特用林産物の振興施策として開始された。近年は県の補助事業を活用した機械導入を行っている。																			
実施状況	特用林産物の産地づくり推進事業 機械導入事業、新植・補植事業補助金											改革 改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了							
成果	管理機械の導入で作業の省力化と効率の向上が図られた。																			
課題	生産量が年々増えてきているが、今後も生産技術の向上を、組合と連携して図らなければいけない。																			

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		森林病害虫等防除事業		担当課	耕地林務水産課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	林務水産係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりﾌﾗﾝｼﾞ (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	会計 1	款 6	項 2	目 2	備考	ア	空中散布した面積	ha	24 24	24 17	17 17	17 17		
		1	憩いにあふれ住みたくなるまち	主な費目	委託費				イ		地上散布した面積	ha	6 6	6 11	11 11	11 11	11 11	
	(施策)	4	公園・緑地の整備	対象	松林				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		事業期間	年度～ 年度 ( 年間)				ア	松の伐倒数量	m³	350 130	350 70	350 0	350	350	350
(施策)	3	公共施設最適化プロジェクト					イ											
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円	3,871	6,847	1,935	7,210	7,210	7,210	有効性評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ</li> <li>・事業の効果</li> <li>・政策との整合性</li> <li>・事業を廃止の影響</li> <li>・類似事業との連携</li> <li>・公平性</li> </ul> <p>空中散布と地上散布については、比較的安価な費用での実施となるが、住宅地に隣接した松林では危被害防止の観点から、完璧な防除が不可能であり、防除効果の低下も想定されるため、高い防除効果を確保するためには、防除が厳しい区域の樹種転換等も検討していく必要がある。</p>					
		その他特定財源	千円															
	一般財源	千円	4,652	3,700	0	500	500	500										
	事業費計 (A)	千円	8,523	10,547	1,935	7,710	7,710	7,710										
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050										
	人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280	280										
	(A) + (B)	千円	8,803	10,827	2,215	7,990	7,990	7,990										
(2) 事業概要																		
事業目的	志布志湾沿岸に生育する松林の森林病害虫を適期に駆除することにより、被害のまん延を防止し、保安林機能はじめ多面的機能をもつ景勝松林の保全を図る。																	
事業内容	志布志湾沿岸の松林に発生した松くい虫被害の蔓延を防止するため、航空機を利用したの薬剤空中散布のための地上作業、およびスパウターによる薬剤の地上散布、被害木の伐倒駆除を行う。																	
開始経緯	昭和40～50年代に松くい虫被害が急増したため、その対策として開始された。																	
実施状況	実施地区 稚子松、松波、若浜、通山、押切 地上作業 (17ha: 航空防除)、地上散布 (11ha: 地上防除) 伐倒駆除、市単独駆除、クレーン作業委託等																	
成果	防除措置命令による松くい虫防除により、被害のまん延防止と公益的機能の保全及び風致景観の維持が図られた。																	
課題	気候変動の影響等により、数年に一度マツケムシの異常発生が見られることもあり、多面的、公益的機能を有する松林を保全するために、今後も注意深く観察、適期駆除に努める必要がある。																	
		改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了						

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		森林整備地域活動支援交付金		担当課	耕地林務水産課				(3) 指標の推移											
				担当係	林務水産係				活動指標 (実施状況)		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
				1	6	2	2					(実績)	(実績)	(実績)						
まちづくりアツ (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目						ア	森林経営計画作成促進	ha	10 10	10 0	10 0	10	10	10		
(個別目標)	画面体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	補助金						イ	施業集約化の促進	ha	22 22	22 0	22 0	22	22	22	
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	森林組合						成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする								ア	森林施業計画対象森林面積	ha	4,758 4,758	4,758 4,758	4,758 4,758	4,758	4,758	4,758	
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業期間	H14 年度～ 年度 ( 年間)						イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価											
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価											
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円	1,155	0	0	0	1,155	1,155	有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	材価が低迷する中、積極的な施業の減少傾向が継続すると適期施業の遅れや施業未実施等により、森林の荒廃や公益的機能の低下が危惧されるために、森林施業を推進するために事業実施を継続していくことで森林整備が進んでいく。								
	内訳	その他特定財源	千円																	
	人件費	一般財源	千円	385	0	0	0	385	385											
	コスト	事業費計 (A)	千円	1,540	0	0	0	1,540	1,540											
		所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.000	0.000	0.025	0.025											
		人件費概算 (B)	千円	140	140	0	0	140	140											
		(A) + (B)	千円	1,680	140	0	0	1,680	1,680											
(2) 事業概要																				
事業目的	森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業に不可欠な地域活動を支援し、森林の有する多面的機能を発揮させ促進を図る。																			
事業内容	曾於地区森林組合が主体となった施業計画に基づく各種施業に対し、交付金を交付する。 【森林経営計画作成促進】 30,000円/ha 【森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた条件整備】 40,000円/ha ※負担区分は、国1/2、県1/4、市1/4																			
開始経緯	林業生産活動の停滞や森林所有者の高齢化・不在村化等を背景として、森林施業が十分に行われていない人工林や植栽されないまま放置されているなど、多面的機能の発揮に支障をきたすことが懸念されている。このような状況に対して、多面的機能を図るため、平成14年度から、国・県の事業創設により開始された。																			
実施状況	(1) 交付対象団体 曾於地区森林組合 (2) 交付金の内訳 ア 施業集約化の促進 (間伐) 30,000円/ha 22ha 660,000円 イ 作業路網の改良 40,000円/ha 22ha 880,000円																			
成果	森林経営計画作成促進と森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた条件整備により、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業が実施でき、適切な整備をした。																			
課題	木材価格の低迷、森林所有者の高齢化、不在村化等により林業生産活動が停滞し、森林施業が行われない人工林が放置されている状況が続く中、林業生産活動の活性化、適切な森林整備による森林の多面的機能を発揮する必要から施業実施に必要な地域活動を今後も支援していく必要がある。																			
										改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了				

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		市有林管理事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	林務水産係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)					
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	1	6	2	2		ア	下刈面積	ha	18	18	18	18	18		
(個別目標)	1	1	憩いにあふれ住みたくなるまち	主な費目	業務委託					イ									
(施策)	4	4	公園・緑地の整備	対象	市有林					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)	4	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア	整備された市有林	ha	20	20	20	20			
(施策)	3	3	公共施設最適化プロジェクト	事業期間	H15 年度～ 年度 ( 年間)					イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価		
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)						
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円	6,355	13,565	5,992	4,321	4,321	4,321	有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ</li> <li>・事業の効果</li> <li>・政策との整合性</li> <li>・事業を廃止の影響</li> <li>・類似事業との連携</li> <li>・公平性</li> </ul>							下刈・間伐・再造林を実施することにより、木の生育環境が整備され、適正な森林環境が維持される。	
		その他特定財源	千円	193	8,372	273	73	73	73										
		一般財源	千円	3,515	4,478	3,734	4,238	4,238	4,238										
		事業費計 (A)	千円	10,063	26,415	9,999	8,632	8,632	8,632										
		所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100											
		人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	0										
	(A) + (B)	千円	10,623	26,975	10,559	9,192	9,192	8,632											
(2) 事業概要																			
事業目的	市有林の適正な維持管理を図る。																		
事業内容	市有林を適正に維持管理して、多面的、公益的な機能を増進するため植林・下刈・除間伐を実施する。施業計画を作成している場合、国・県より約68%の補助がある。																		
開始経緯	合併前の平成15年ころからすでに旧志布志町においては、施業計画を作成し、本事業を活用して市有林の整備が実施されてきた。																		
実施状況	(1)森林環境保全直接支援事業 委託料 (下刈、除伐、人工造林、間伐) (2) 岳野山・国際の森管理委託業務等 (3) 森林保険、し尿汲取り、その他伐採委託																		
成果	市有林の適正管理が図られた。																		
課題	今後は計画的に市有林の主伐を進めていく。																		
				改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了					

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		森林経営管理事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	林務水産係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりア (基本目標)	振興	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	2	2	備考	ア	事業実施地区数	地区	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	
(個別目標)	計画	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	委託料、補助金					イ								
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	林業経営者					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(基本目標)	総合	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする							ア	委託面積	ha	30 9	30 10	30 6	30	30	30
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業期間	R1 年度～ 年度 ( 年間)					イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	森林経営管理事業を実施することにより、森林の荒廃や公益的機能の低下を防止し、森林が持つ多面的機能を保つことが出来る。							
	財源内訳	千円	4,923	25,768	18,351	27,265	27,265	27,265										
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円	26,660	26,660	0	33,000	33,000	33,000										
	一般財源	千円	31,583	52,428	18,351	60,265	60,265	60,265										
	事業費計 (A)	千円	31,583	52,428	18,351	60,265	60,265	60,265										
必要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	最低限の事務事業で進めているために、削減の余地はないと思われるが、事務事業の効率化に努めていく。								
所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100											
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	560											
(A) + (B)	千円	32,143	52,988	18,911	60,825	60,825	60,825	達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間	毎年1地区の意向調査を行い、意向調査の次年度から集計計画書作成、森林施業の再委託を繰り返し実施していき、15年間で市内の森林全ての事業の実施を進めていく。								
(2) 事業概要																		
事業目的	森林所有者自ら経営管理を実行できない森林を市町村が経営管理権を取得して、林業経営に適した森林については意欲と能力のある林業経営者に委ねて、森林資源の適切な管理を行う。							改革 改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了									
事業内容	意欲と能力のある林業経営者へ林業経営の集積・集約化を図るとともに、経済的に成り立たない森林については、市が経営管理を行う。																	
開始経緯	平成30年度に法律が制定され、令和元年度より実施された。																	
実施状況	(1)旅費 (担当者会議等) (2)役務費 (事業用アンケート切手代) (3)委託料 (集計計画作成業務委託、森林情報システム保守業務委託) (4)補助金 (森林炭素マイレージ交付金) (5)積立金 (森林環境譲与税基金積立金)																	
成果	森林所有者自ら経営管理が出来ない森林の管理委託を受けて、適切な森林施業を進めている。																	
課題	森林簿に記載されている情報を基に事業を進めているが、地権者が亡くなり登記名義を変更していない場合が多く、土地の管理者の特定に苦労している。																	

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		林道整備事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	林務水産係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	6	2	3		ア	林道開設延長	m	1,000 1,260	1,000 800	1,000 210	1,000	1,000	1,000
(個別目標)	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	委託費、工事費、用地取得費、補償費					イ									
(施策)	2	1次産業の振興	対象	林道					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間	年度～年度 ( 年間)					ア	林業経営体数	人	50 43	50 43	50 43	50	50	50
(施策)	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト								イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価							
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)										
年間 事業 費 内 訳 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円	611	9,950	7,048	12,150	12,700	12,700	有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	主伐期を迎えた森林が所在する区域の林道整備を重点的に整備を進めている。						
		その他特定財源	千円	4,000	20,400	9,100	21,900	20,970	20,970									
		一般財源	千円	283	2,512	593	2,529	2,409	2,409									
		事業費計 (A)	千円	4,894	32,862	16,741	36,579	36,079	36,079									
		所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100									
		人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	560									
		(A) + (B)	千円	5,454	33,422	17,301	37,139	36,639	36,639									
(2) 事業概要																		
事業目的	林道の保全、災害の未然防止を図るとともに森林施業の促進、効率化を図ることで森林の持つ多面的機能の維持を図る。										効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	県営林道開設事業は、委託費・工事・補償費は県営事業のため市の支出は無い。県単林業事業は、県の40%負担で市が事業実施しており、市の支出は抑えられている。					
事業内容	豊かな森林資源を活用するため、県営事業で林道の開設を行う。また、林道の維持管理工事を県単事業で行う。																	
開始経緯	当地域は、県の「大隅地域木材生産プラン」において、木材生産の拠点となる木材生産基地に設定されており、また市内には、全国一の原木輸出港である「志布志港」を有していることなど、林業の活性化が期待されている地域である。このようなことから、地域の木材を安定的に供給するため、幹線となる森林管理道を整備することとし、木材生産量の増大による地域林業の活性化を図り、併せて森林の持つ多面的機能の維持管理を図る。										達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間	主伐期を迎えている地域の林道整備を進めているために、伐採経費の削減が図られ、森林施業が進んでいっている。					
実施状況	(1) 県営林道開設事業 旅費、需要費、登記業務委託、用地取得費、補償費 (2) 県単林道事業 委託費 (測量設計委託等)、工事費																	
成果	林道開設工事、林道の維持管理工事、更には景観整備を行うことで林業施策の効率化を図ることにより、森林の多面的機能の維持が図られた。										改革 改善案	拡充	○ 現状維持	改善	効率化	廃止終了		
課題																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		林道維持管理事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
				担当係	有明：林務水産係 各支所：土木耕地係					活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)						
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	1	款	6	項	2	目	3	備考	ア	林道維持補修箇所	箇所	20 7	20 11	20 6	20	20	20	
(個別目標)	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	委託費					イ														
(施策)	2	1次産業の振興	対象	林道					成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)							
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間	年度～年度 ( 年間)					ア	林業経営体数	人	50 43	50 43	50 43	50	50	50					
(施策)	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト								イ													
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価												
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	利用区域受益者、地元自治会からの要望も多いことから、継続的に維持管理することで施設の長寿命化が図られる。												
	財源内訳	千円																					
	国県支出金	千円																					
	その他特定財源	千円	193	203	223	203	203																
	一般財源	千円	2,567	3,134	2,829	3,134	3,134																
	事業費計 (A)	千円	2,760	3,337	3,052	3,337	3,337																
人件費	千円						効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	維持補修等に係る必要最小限の整備であることから、削減余地はない。														
所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050																	
人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280																	
(A) + (B)	千円	3,040	3,617	3,332	3,617	3,617	0	達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間	日頃からの維持管理を徹底していることにより、林道の長寿命化が図られた。													
(2) 事業概要																							
事業目的	林道の適正な維持管理により林道機能の維持を図る。																						
事業内容	林道施設等の保全、保護を適切に図るため、維持管理補修を行い、施設の長寿命化を図る。 市内28路線 L=63.991km																						
開始経緯	各路線の林道開設時期より、林業用施設等の維持管理を行うために開始された。平成8年度より林道台帳の作成が義務化され、更に維持管理が徹底された。																						
実施状況	(1) 委託料 林道維持管理作業委託 (2) 原材料費 (3) 負担金 林道台帳管理 (28路線) 負担金等																						
成果	全28路線、総延長63,991mの林道施設の維持管理により、森林施業の効率化はもとより、森林の持つ多面的機能の維持が図られた。							改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了									
課題	年々増加するゲリラ豪雨等で、林道施設の崩落等が増えてきている。現在は日常点検等を行い、順次補修等を行いながら観察を続けている。																						



令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		治山事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	有明：林務水産係 各支所：土木耕地係					活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	1	6	2	4		ア	治山事業要望箇所	箇所	10 50	10 50	10 41	10			
（個別目標）	5	誰もが安心できる災害に強いまち	主な費目	委託費、負担金					イ										
（施策）	3	地域防災力の向上	対象	林地、市民					成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
（基本目標）	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	年度～ 年度（ 年間）					ア	治山事業実施箇所	箇所	3 2	3 1	3 5	3			
（施策）	8	地域防災力強化プロジェクト								イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価										
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	所管課による評価									
	国県支出金	千円																	
	その他特定財源	千円		3,000	400														
	一般財源	千円	1,071	1,490	927	1,101	1,101	1,101											
	事業費計 (A)	千円	1,071	4,490	1,327	1,101	1,101	1,101											
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050											
	人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280	280											
(A) + (B)	千円	1,351	4,770	1,607	1,381	1,381	1,381												
(2) 事業概要																			
事業目的	治山施設の維持保全、自然災害により崩壊した林地及び人家等の保護を図る。									効率性 評価	事業費は、委託費、工事費のみである。単独事業については、一部地元負担があり、事業に対する用地補償もなく、最低限の環境に配慮した山腹復旧工法で削減の余地がない。								
事業内容	山地災害を防止し、生活環境の保全・形成を図るため、森林整備事業計画に基づき、崩壊地の復旧及び崩壊危険地区の予防を目的に実施する。																		
開始経緯	昭和30年度以前より継続的事业として、山腹崩壊、土砂流出等の防止を図る目的で各種事業を開始した。「森林法第41条保安林指定目的」を達成するために、保安施設事業及び地すべり等防止法に基づき開始された。									達成度 評価	治山事業は県へ申請して事業実施となるために、事業実施する箇所は少ないが、少しずつであるが整備が進み危険箇所が減ってきている。								
実施状況	(1) 委託費（作業委託） (2) 負担金（治山林道協会負担金） （治山事業負担金）																		
成果	事業施行により山腹崩壊等の危険性が除去され、林地及び人家の保護が図られた。									改革 改善案	拡充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	改善	効率化	廃止終了				
課題																			

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		水産振興事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	林務水産係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計 1	款 6	項 3	目 2	備考	ア	イワガキ購入数	個	30,000 9,088	30,000 3,592	30,000	30,000	30,000	
(個別目標)	画面体系	2	1次産業が発展し続けるまち	主な費目	補助金					イ	ヒオウギガイ購入数	個	15,000 2,105	15,000 754	15,000	-	-	-
(施策)	体系	2	1次産業の振興	対象	志布志漁協協同組合					(4) 評価		所管課による評価						
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする							成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト	事業期間	R1 年度～ R3 年度 ( 3 年間)					ア	イワガキ販売額	千円	2,000 1,994	2,000 1,036	2,000 211	2,000	2,000	2,000
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	有効性評価		資源増殖の試みを実施しているところであり、増殖技術の習得により規模を拡大させる。							
年間 トータル コスト	財源内訳	千円							効 率 性 評 価	事業費		資源増殖の試みを実施しているところであり、増殖技術の習得により規模を拡大させる。						
	国県支出金	千円								人件費		資源増殖の試みを実施しているところであり、増殖技術の習得により規模を拡大させる。						
	その他特定財源	千円		689	1,812	1	1	1		必要経緯		地方創生事業を活用したイワガキ・ヒオウギガイの養殖事業を平成28年度から実施して、地方創生事業が平成30年度で終了した。今後もイワガキ・ヒオウギガイの養殖の規模拡大を行い、養殖ブランド化、6次産業化を目指す。						
	一般財源	千円	2,400	2,000	3,497	2,252	2,252	2,252		実施状況		R2 志布志湾水産振興事業補助金 2,000,000円、販売促進支援事業補助金 400,000円 R3 志布志湾水産振興事業補助金 2,000,000円、志布志漁協施設整備事業補助金 (フォークリフト購入) 689,000円 R4 志布志湾水産振興事業補助金 2,000,000円、志布志漁協施設補修事業補助金 (漁協屋上防水工事) 1,812,800円、鹿児島湾・大隅地区広域漁場整備事業 (養殖場) 1,000,000円						
	事業費計 (A)	千円	2,400	2,689	5,309	2,253	2,253	2,253		成果		令和3年度は令和2年度と比較して売上げが半分に減少した。						
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025		課題		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。						
人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140	140	改革改善案		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。								
(A) + (B)	千円	2,540	2,829	5,449	2,393	2,393	2,393	達成度評価		達成度評価								
(2) 事業概要		事業目的		志布志漁協協同組合からの要望を受け、資源の減少が顕著であるイワガキ・ヒオウギガイ等について、増養殖ブランド化を目指し、将来的な資源増殖と6次産業化を図る。		事業内容		志布志漁協が行っているイワガキ、ヒオウギガイの養殖事業の稚貝購入、資材購入等の補助を行い安定的な生活を営む産業形成を図る。		達成度評価		増養殖ブランド化を目指し、将来的な資源増殖と6次産業化を図る。						
必要経緯		地方創生事業を活用したイワガキ・ヒオウギガイの養殖事業を平成28年度から実施して、地方創生事業が平成30年度で終了した。今後もイワガキ・ヒオウギガイの養殖の規模拡大を行い、養殖ブランド化、6次産業化を目指す。		実施状況		R2 志布志湾水産振興事業補助金 2,000,000円、販売促進支援事業補助金 400,000円 R3 志布志湾水産振興事業補助金 2,000,000円、志布志漁協施設整備事業補助金 (フォークリフト購入) 689,000円 R4 志布志湾水産振興事業補助金 2,000,000円、志布志漁協施設補修事業補助金 (漁協屋上防水工事) 1,812,800円、鹿児島湾・大隅地区広域漁場整備事業 (養殖場) 1,000,000円		成果		令和3年度は令和2年度と比較して売上げが半分に減少した。								
成果		令和3年度は令和2年度と比較して売上げが半分に減少した。		課題		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。		改革改善案		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。								
課題		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。		改革改善案		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。		達成度評価		達成度評価								
改革改善案		令和3年度はコロナ禍の影響で出荷が減少しているために、安定的に出荷出来る相手を新規開拓しなければならない。		達成度評価		達成度評価		達成度評価		達成度評価								

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		夏井漁港水産基盤機能保全事業				担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
						担当係	林務水産係							活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
						予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)			
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち				予	1	6	3	4		ア	対処件数	件	0	0	0	0			
(個別目標)	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち				主	委託費、工事費					イ									
(施策)	体系	2	1次産業の振興				対	漁港					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする										ア	苦情・要望件数	件	0	0	0	0			
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト				事	R1	年度～			R6	年度 (6年間)		イ							
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価											
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)														
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円	2,211	25,000	25,333	25,000	25,000	25,000	有効性評価	漁港海岸保全機能の向上に欠かせない最低限の整備を行うものである。											
		その他特定財源	千円	2,200	23,700	25,300	23,700	23,700	23,700													
		一般財源	千円	11	1,300	33	1,300	1,300	1,300													
		事業費計 (A)	千円	4,422	50,000	50,666	50,000	50,000	50,000													
		所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050													
		人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280	280													
		(A) + (B)	千円	4,702	50,280	50,946	50,280	50,280	50,280													
(2) 事業概要												効率性評価		最低限の整備及び整備調査、長寿命化計画の策定であり、削減余地はない。								
事業目的	市町村水産基盤機能保全事業により防波堤等の整備を行い漁港施設の長寿命化を図る。																					
事業内容	市が管理する夏井漁港の水産基盤機能保全事業の測量設計委託と補修工事を行う。																					
開始経緯	平成29年度に夏井漁港海岸保全施設整備改修の要望を県に出し、長寿命化計画を策定して漁港施設の補修工事を実施することになった。																					
実施状況	(1) 測量設計委託費 (2) 工事費										達成度評価		夏井漁港の防波堤の補修を実施することにより、漁港施設の長寿命化を図れる。									
成果	R1 夏井漁港 物揚場 (b)・防波堤 (c) 測量設計委託 R2 夏井漁港 物揚場 (b)・防波堤 (c) 工事【R1繰越】 夏井漁港 防波堤 (a) 測量設計委託 R3、R4 夏井漁港 防波堤 (a) 工事【R3:22m、R4:23m】																					
課題	防波堤 (a) は全体延長がL=250mあり完成までに10年間の期間に係る予定である。										改革改善案		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了									

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		林道災害復旧事業		担当課	耕地林務水産課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	有明：林務水産係 各支所：土木耕地係					活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	災害発生箇所	箇所	10 79	10 21	10 28	10		
(個別目標)	1	雇用が生まれ経済活動が活発なまち	主な費目	委託費、工事費					イ									
(施策)	1	雇用・就労の支援対策	対象	林道					成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする	事業期間	年度～ 年度 ( 年間)					ア	事故件数	件	0 0	0 0	0 0	0		
(施策)	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト								イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費	千円			26,730				有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	林道の利用区域受益者、地元自治会からの復旧の要望等も多いことから、早急な対応に努めている。							
	財源内訳	千円			3,000													
	国県支出金	千円			26,730													
	その他特定財源	千円			3,000													
	一般財源	千円	20,970	2,388	5,225	1,400	1,400	1,400										
	事業費計 (A)	千円	20,970	2,388	34,955	1,400	1,400	1,400										
人件費	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	市が管理する義務があるため、現状維持で対応する必要がある。								
所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100											
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	560											
(A) + (B)	千円	21,530	2,948	35,515	1,960	1,960	1,960	達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	生活道路的な林道が多いために、災害が発生した場合は早急な復旧を進めている。								
事業目的	集中豪雨・台風等により被災した林道用施設の早期復旧を実施し、林業経営の安定を図る。																	
事業内容	自然災害等により発生した林道施設等の災害復旧事業として復旧し、林業経営の安定及び森林施業の利便性を図る。																	
開始経緯	昭和26年度、農林水産業施設災害復旧事業国庫補助の負担法に関する法律の施行後、林業経営の安定及び森林施業の利便性を図る。																	
実施状況	委託料 (1) 林道施設災害復旧作業 (2) 林道施設災害測量設計委託																	
成果	集中豪雨、台風等により被災した林業用施設災害のうち、緊急を要するものの応急作業をすることで、林業経営の安定や利便性が図られた。							改革改善案	拡充	○ 現状維持	改善	効率化	廃止終了					
課題																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		森林整備・木材産業活性化推進事業					担当課		(3) 指標の推移														
							耕地林務水産課		林務水産係					活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
							担当係		単位		(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
							会計				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)							
							項目																
							備考																
まちづくりアワード (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目	1	6	2	2											
(個別目標)	計画体系	1	雇用が生まれ経済活動が活発なまち					主な費目	補助金														
(施策)	体系	1	雇用・就労の支援対策					対象	林業経営者														
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする						事業期間	年度～年度 ( 年間)													
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト																				
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価						
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)										
年間トータルコスト	事業費	千円			133,760		195,668								有効性評価	市内において低コスト製品の生産体制の構築が図られる。							
	財源内訳	千円																					
	国県支出金	千円			133,760		195,668																
	その他特定財源	千円																					
	一般財源	千円																					
	事業費計 (A)	千円	0		133,760		195,668		0		0		0										
人件費	人			0.050		0.050		0.050															
所要人員 (年間)	人			0.050		0.050		0.050															
人件費概算 (B)	千円	0		280		280		280		0		0											
(A) + (B)	千円	0		134,040		195,948		280		0		0											
(2) 事業概要																							
事業目的	木材加工施設の整備を実施して、木材生産コストの削減を図る。																						
事業内容	木材加工施設整備に対する補助金																						
開始経緯	木材需要の高まりにより、製材施設の増設の要望があった。																						
実施状況	木材製材施設装置 丸鋸盤1台、結束機1台、集塵装置1式、電気設備1式、製材保管倉庫1棟、貯木場改良・舗装1式 品質向上・物流拠点施設装置 グレーディングマシン1組、木質資源利用型イテ施設1式、木材乾燥機2基、給水設備1式、電気設備1式 木材処理加工用機械 7tトラック3台																						
成果	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td>現状維持</td> <td>改善</td> <td>効率化</td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>																	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了
拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了																		
課題	改革改善案																						

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		活動火山周辺地域防災林業対策事業					担当課		(3) 指標の推移														
							耕地林務水産課		林務水産係					活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
							担当係			単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
							会計	款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)						
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目	1	6	2	2		ア	機械導入台数	台		1	1	1	1	1	1
(個別目標)	計画体系	2	1次産業が発展し続けるまち					主な費目	補助金					イ									
(施策)	体系	2	1次産業の振興					対象	花木生産団体会員 椎茸振興会員					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	1	稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする											ア	出荷量 (生しいたけ)	kg			15,000	15,000	15,000	15,000	
(施策)	戦略	1	農林水産業の成長産業化プロジェクト					事業期間	年度～ 年度 ( 年間)					イ									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価						
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)										
年間トータルコスト	財源内訳	千円			1,334		0		386						有効性評価	生産者の高齢化が進み作業の省力化を進めるために、降灰から特用林産物を守るために降灰防止被覆施設、降灰洗浄散水施設等の導入要望が出てきている。							
	国県支出金	千円			1,334		0		386														
	その他特定財源	千円																					
	一般財源	千円																					
	事業費計 (A)	千円	0		1,334		0		386		0		0										
	所要人員 (年間)	人			0.050		0.000		0.050														
人件費概算 (B)	千円	0		280		0		280		0		0											
(A) + (B)	千円	0		1,614		0		666		0		0											
(2) 事業概要																							
事業目的	活動火山周辺地域における降灰による特用林産物の被害に対応するため、活動火山周辺地域防災林業対策事業により降灰防止被覆施設、降灰洗浄散水施設等を整備し、特用林産物の経営安定を図る。																						
事業内容	降灰防止被覆施設、降灰洗浄散水施設等を整備するための補助金																						
開始経緯	志布志市椎茸振興会の会員から降灰を洗浄する動力噴霧器の導入に対する補助金の要望があった。																						
実施状況	R3 力噴霧器 1 台、降灰防止被覆施設 1 棟 R5 動力噴霧器 1 台																						
成果	特用林産物 (椎茸) の桜島降灰被害からの作業軽減を図るために、動噴と降灰防止被覆施設を導入し生産性の向上と作業効率の向上が図られた。																						
課題																							
		改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了											

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		里山林等保全環境促進事業					担当課		(3) 指標の推移																
							耕地林務水産課		林務水産係					活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				
							担当係				単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)								
							予算科目		会計 款 項 目 備考		実績		実績		実績		実績								
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち				予算科目		1	6	2	2													
(個別目標)	5	誰もが安心できる災害に強いまち				主な費目		委託費																	
(施策)	3	地域防災力の向上				対象		林地、市民		成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
(基本目標)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								事業実施箇所		箇所				1									
(施策)	8	地域防災力強化プロジェクト				事業期間		年度～年度 ( 年間)																	
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価										
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)		所管課による評価										
年間 トータル コスト	事業費	千円							5,950						有効性 評価	この事業については申請に基づき県補助金を活用した事業であり、その予算枠内での事業実施となるため事業量の制限を受けるが、要望箇所の危険度により優先順位を設定した計画的な実施に引き続き努めていく。									
	財源内訳	千円																							
	国県支出金	千円																							
	その他特定財源	千円																							
	一般財源	千円							2,550																
	事業費計 (A)	千円	0		0		0		8,500		0		0												
人件費	人							0.025		0.050		0.050		効率性 評価	事業費は、委託費であり、対象面積の3割で保安林の伐採を実施するために削減の余地がない。										
所要人員 (年間)	人																								
人件費概算 (B)	千円	0		0		0		140		280		280													
(A) + (B)	千円	0		0		0		8,640		280		280		達成度 評価	この事業は県へ申請して事業実施となるために、事業実施する箇所は年1箇所程度である。少しずつであるが人家裏の大木の伐採が進み危険箇所が減っていくと思われる。										
(2) 事業概要																									
事業目的	保安林内の大木を伐採し、保安林の維持保全を図る。																								
事業内容	人家裏の保安林の大木を伐採し、強風で倒れて人家に被害が及ぶ前に伐採を実施して被害を未然に予防する。																								
開始経緯	倒木による危険性を解消し、林地及び人家を保護する必要がある。																								
実施状況	(1) 委託費 (作業委託)																								
成果																									
課題																									
															改革 改善案	拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了	